

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●藤田菜七子騎手がJRA女性騎手年間最多勝記録を更新

9月14日(土)の4回中山3日・第1レースではデビルスダンサーが1着となり、同馬に騎乗した藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)は今年のJRA28勝目をマーク、自身が昨年あげた27勝を抜いて、JRA女性騎手の年間最多勝記録を更新しました。

●北村友一騎手がJRA通算700勝を達成

9月16日(祝・月)の4回阪神5日・第5レースではライティアが1着となり、同馬に騎乗した北村友一騎手(栗東・フリー)は、現役30人目となるJRA通算700勝(8546戦目)を達成しました。

●武豊騎手がJRA通算4100勝を達成

9月16日(祝・月)の4回阪神5日・第7レースではパーティーウムが1着となり、同馬に騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、中央競馬史上初となるJRA通算4100勝を達成しました。デビューから32年6か月16日、2万1860戦目での記録達成となります。

●M. デムーロ騎手がJRA通算1000勝を達成

9月16日(祝・月)の4回中山5日・第12レースではイルヴェントデアが1着となり、同馬に騎乗したミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)は、史上37人目、現役では20人目となるJRA通算1000勝(5475戦目)を達成しました。

●重賞ウィナー3頭の競走馬登録抹消

2016年京成杯(GⅢ)の勝ち馬プロフェット(騾6歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算26戦2勝)、2019年関屋記念(GⅢ)などの勝ち馬ミッキングローリー(牡6歳/美浦・国枝栄厩舎/JRA通算13戦7勝)、2016年富士S(GⅢ)などの勝ち馬ヤングマンパワー(牡7歳/美浦・手塚貴久厩舎/JRA通算32戦5勝)は、9月15日(日)までに競走馬登録を抹消されました。プロフェットは乗馬となる予定ですが繋養先は未定。ミッキングローリーは北海道新ひだか町のレックススタッド、ヤングマンパワーは北海道新冠町の白馬牧場で種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●フジノロケット(北海道)が芝で重賞勝ち【各地の主要2歳重賞】

ジュニアグランプリ(9月15日、盛岡、芝1600m)は、中団から差を詰めた4番人気の北海道からの遠征馬フジノロケット(牡、父ジャングルポケット)がゴール前で差し切り勝ちを取っています。

●戸塚記念は東京ダービー馬ヒカリオーソ【各地の主要3歳重賞】

戸塚記念(9月4日、川崎、2100m)は、2番手から3コーナー手前で抜け出した1番人気の東京ダービー馬ヒカリオーソ(牡、父フリーオーソ)が4度目の重賞制覇を果たしました。園田オータムT(9月5日、園田、1700m)は、先手を取った3番人気のテンマダイウエーヴ(牡、父カネヒキリ)が後続を3/4馬身振り切って逃げ切り勝ち。サラブレッド大賞典(9月8日、金沢、2000m)は、3番手から3コーナーで先頭に立った2番人気のJRAからの移籍馬タンクティーエー(牡、父ブラックタイド)が7馬身差で圧勝。不來方賞(9月16日、盛岡、2000m)は、これが大井からの復帰緒戦だった2番人気のヤマショウブラック(牡、父ルースリンド)が、中団から追い上げてゴール寸前で差し切っています。

●クリソベリルが登場、9月23日の日本テレビ盃(船橋)

日本テレビ盃(JpnⅡ、9月23日、船橋、1800m)は、3歳馬クリソベリルが中心、次いでアポロケンタッキー、ノンコノユメ(大井)、ロンドンタウン、ヒラボクラターシュの順に有力視されます。

●ファッションスタらが出走、10月3日のレディスプレリユード

レディスプレリユード(JpnⅡ、10月3日、大井、1800m)は、ファッションスタが筆頭格、アンデスクイーンと昨年の覇者プリンシアコメータが差なく続き、以下ラビットラン、マドラスチェックまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1アイリッシュチャンピオンS～ディアドラは4着

アイルランドのレパーズタウン競馬場で9月14日に行われたG1アイリッシュチャンピオンS(3歳上、芝2000m)は2番手でレースを進めたマジカル(牝4歳、父ガリレオ)が直線で鋭く抜け出して2馬身1/4差で優勝。2着にマジックワンド、3着にアンソニーヴァンダイクが入り、地元アイルランドのA. オブライエン厩舎に所属するガリレオ産駒が1～3着を占めました。日本から長期遠征中のディアドラは最後の直線で行き場を失う場面があり、最後は外から猛然と追いましたが4着に終わりました。勝ったマジカルはこれで昨秋のG1英チャンピオンズフィリーズ&メアズS(芝2390m)、今春のG1タタソールズゴールドC(芝2100m)に続くG1・3勝目です。

●G2フォワ賞～キセキは3着

9月15日にフランスのパリロンシャン競馬場でG2フォワ賞(4歳上牡牝、芝2400m)が行われ、日本から遠征した菊花賞馬キセキは逃げて3着(4頭立て)に終わりました。勝ったのは地元フランスのヴァルトガイスト(牡5歳、父ガリレオ、A. フェール厩舎)。2番手から余裕を持って抜け出して、このレース連覇としました。